

# 漁海況月報

平成29年7月21日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

## 1 海況

### ○ 黒潮流路

7月18日の人工衛星画像によると、黒潮は、潮岬で接岸し、北緯31度30分まで南下した後、八丈島の東側を北上している（C型流路）。

### ○ 渥美外海の状況

熊野灘～渥美外海沖に暖水がみられ、暖水は遠州灘の沿岸域に達している。7月19日の観測では、沖合域（200m層）の水温偏差は+0.9℃で、やや高めであった。

### ○ 予想

現在、九州南東沖に発生した小蛇行が足摺岬を東進しており、四国沖で黒潮の離岸が強まっている。この小蛇行は7月下旬から8月上旬頃にかけて潮岬沖を通過する見込みで、黒潮内側域では、暖水の流入が強まることが予想される。

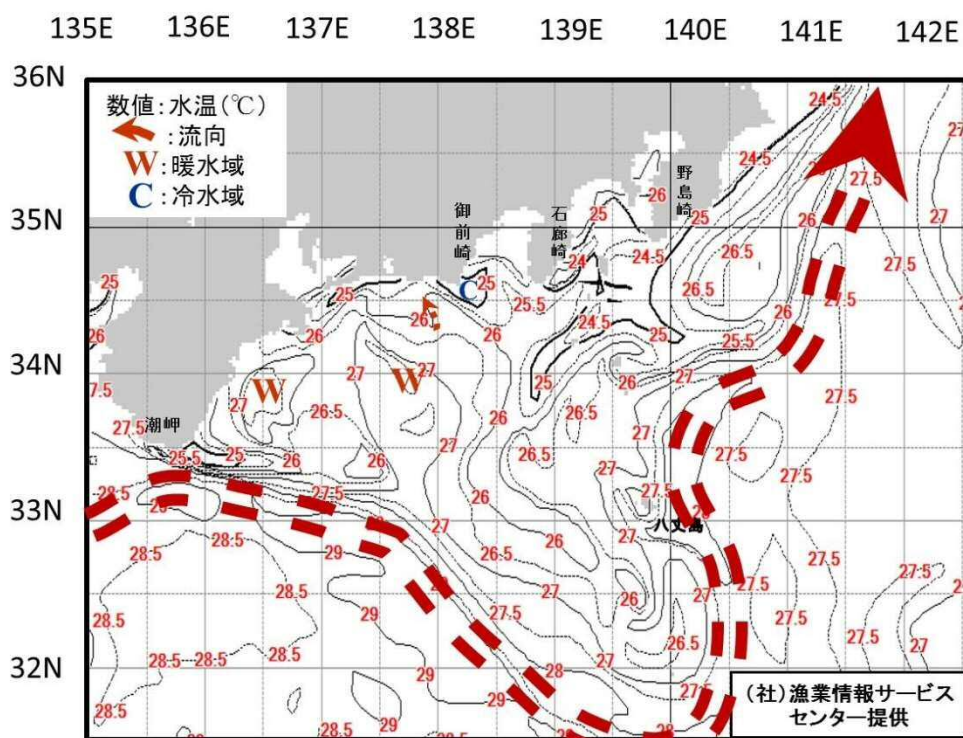


図1 海況の現況[2017年7月18日]

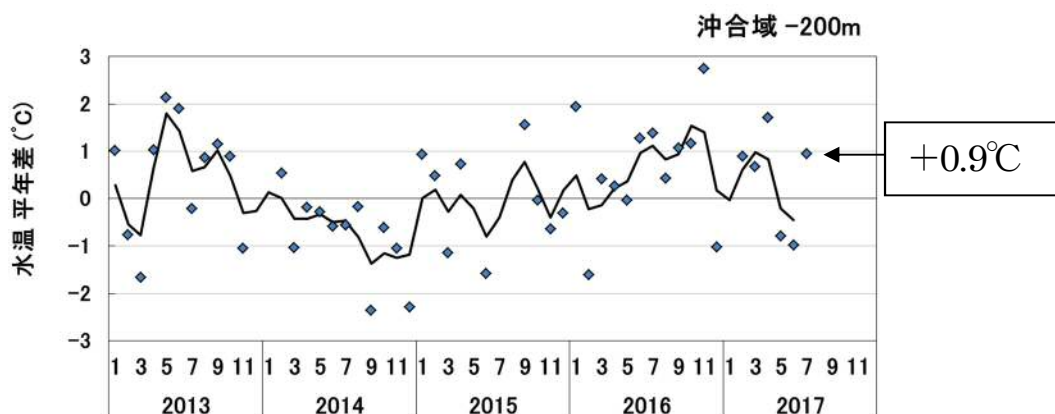


図2 沖合域の水温(A11点、A19点の200mの平均)

## 2 イワシ類

### (1) シラス

CPUE (1日1ヶ統あたり漁獲量) は、5月中旬までは100カゴ前後で推移していたが、中旬以降減少した。6月は出漁がなかった(図3)。

5月の漁獲量は2,104トンとなり、昨年(691トン)、平年の1,620トンを上回った(表6)。

5月の種組成はカタクチイワシ主体で、マイワシが2割程度まじっていた(図4)。

6月のカタクチイワシ卵採集数は外海で147個と、平年の182個には届かなかったが、近年ではやや多くなっているが(表4)、伊勢湾では29個と、昨年や平年よりも大幅に少ない(表5)。

太平洋沿岸のシラス漁獲量は、6月下旬以降に紀伊水道外域で増加傾向となっているものの、西日本の九州や四国の漁獲量は引き続き低調で、7月上旬の静岡県西部も低調に推移している。

8月の漁獲量は、渥美外海への暖水波及の状況によっては外海で漁場が形成される可能性もあるが、内湾の産卵水準は低いことから、低水準で推移すると考えられる。

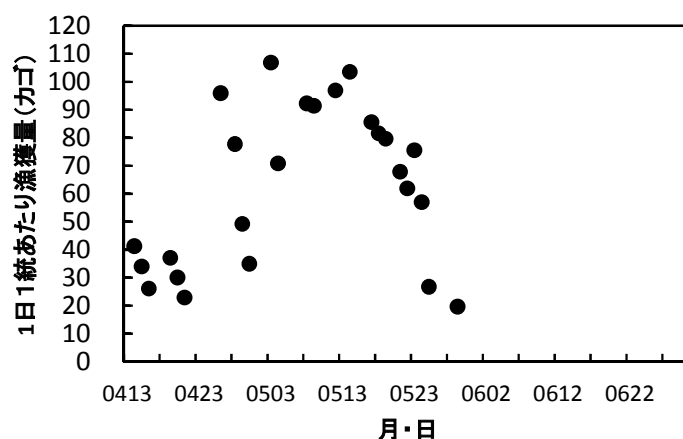


図3 シラス CPUE の変化

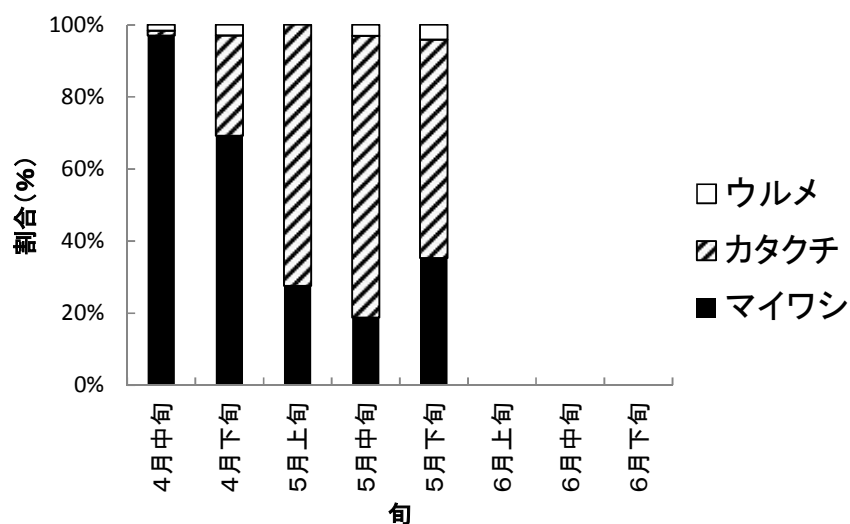


図4 シラス種組成

(2) マイワシ (成魚・未成魚)

CPUEは、6月上旬には低水準であったが、6月11日に内湾が解禁されると増加し、中旬は8~10トン程度で推移していた。その後、下旬にはやや低下したが、7月上旬にかけて徐々に増加し、10トン前後で推移している(図5)。

6月の漁獲量は1,154トンで、**平年(501トン)の2倍**となっているものの、**昨年(4,736トン)の3分の1程度**にとどまっている(表8)。

主な漁場は湾口部及び空港沖から野間沖、知多湾から福江沖である。

魚体は、6月中旬のモードは**55~60mm**で、6月下旬から7月上旬のモードは**80~85mm**となっており(表1)、6月の体長モードは昨年よりも**30mm以上**小さかった。

7月上旬の熊野灘における中型まき網のマイワシ漁獲量は昨年と同じように低下しており、大羽の来遊は時期的にも期待できない。今後の漁獲主体である春生まれの0歳魚(小羽)は魚体サイズが昨年よりも小型であり、成長に伴う重量増加を考えると、8月の漁獲量は昨年には届かないと考えられる。

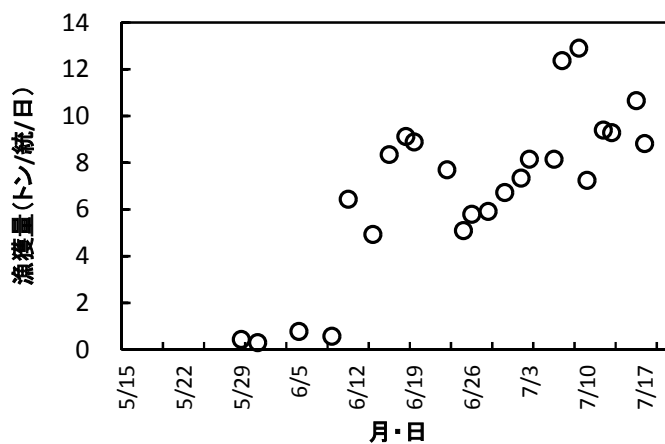


図5 マイワシ CPUE の変化

表1 マイワシ体長組成

体長範囲(mm)	6月上	6月中	6月下	7月上
~40	0	1	0	0
40~45	0	1	0	0
45~50	0	1	1	0
50~55	0	12	9	0
55~60	0	86	5	0
60~65	0	78	8	0
65~70	0	17	14	4
70~75	0	3	21	7
75~80	1	1	22	12
80~85	0	0	37	33
85~90	0	0	25	27
90~95	0	0	2	20
95~100	0	0	1	10
100~105	3	0	1	5
105~110	3	0	0	1
110~115	4	0	0	0
115~120	1	0	0	0
120~125	0	0	0	0
125~	0	0	0	0

### (3) カタクチ (成魚・未成魚)

6月上旬は、被鱗体長 100mm 以上の成熟した魚群を外海で漁獲しており、CPUE も 10 トンを超える日があった。6月 11 日に内湾が解禁されると、魚体サイズのモードは 60~65mm となり、CPUE も一時的に 4 トン程度に低下した。中旬は一時的に 8 トン程度に回復したものの、下旬には再び 4 トン程度に減少した。その後、7月になると魚体サイズのモードは 65~75mm に大型化し、CPUE も増加傾向となった(図 6、表 2)。

6月の漁獲量は、1,873 トンで、昨年 (2,128 トン) 及び平年 (1,939 トン) に届かなかった。7月の漁獲量は 17 日現在 1,878 トンで、昨年 7月 (1,703 トン) を上回っている (表 7)。

三重県のまき網主要 4 港の漁獲量は 7月上旬にややまとまった漁獲があったが、昨年同様、愛知県沿岸へ来遊する 1 歳以上は少なく、今後の漁獲対象は湾内の 0 歳魚主体と考えられる。7月上旬の魚体測定結果では、混獲率は昨年よりも高く、8月の漁獲量は現在の水準で推移すると考えられる。しかし、60mm 以下の個体も多いため、成長を待ちながら慎重に漁獲することが漁獲量を維持するためには必要と考えられる。

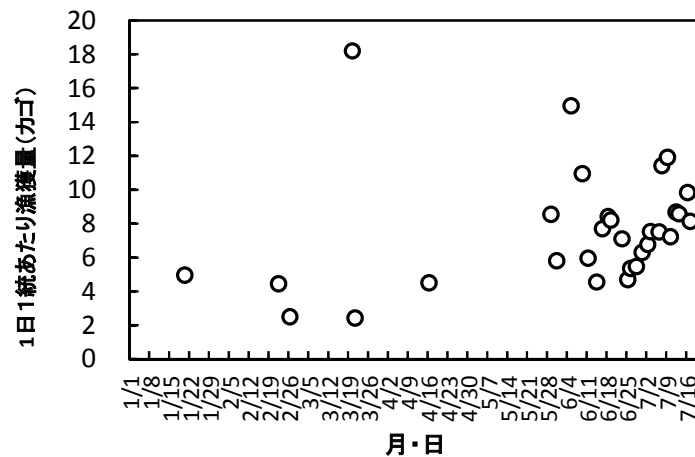


図6 カタクチイワシ CPUE の変化

表2 カタクチイワシ体長組成

体長範囲(mm)	6月上	6月中	6月下	7月上
~30	0	0	0	0
30~35	0	0	0	0
35~40	0	1	0	0
40~45	0	2	1	0
45~50	0	2	2	0
50~55	0	17	8	25
55~60	0	67	22	33
60~65	0	82	57	34
65~70	0	25	48	53
70~75	0	1	5	53
75~80	0	2	1	6
80~85	0	1	1	1
85~90	0	0	0	0
90~95	1	0	0	0
95~100	15	0	0	0
100~105	83	0	0	0
105~110	72	0	0	0
110~115	24	0	0	0
115~	5	0	0	0

### 3 イカナゴ

7月14日に外海の出山海域において、イカナゴ夏眠魚の調査(空釣り)を実施した。調査海域の底層水温は21.0℃で、夏眠が完了する温度に到達していると考えられる。採集尾数の平均は6尾/kmで、6月よりも減少していた(表3)。

0歳魚の平均体長は94.8mm、肥満度の平均は3.38で、肥満度は6月調査時点(3.65、6/16)よりも若干低下していた。

ここ数年、夏眠魚の減少が続いており、今年も夏眠が終了するまで調査を毎月行う予定。

表3 空釣り調査結果(愛知水試)

	イカナゴ夏眠魚 採集尾数 (尾/km)									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
2000	9	13	60		76	46	183		12	
2007		1,128	2,180		1,682		1,039		544	
2008	77	45	49			121		68	30	
2009		435	438				740		501	
2010		792	3,306				1,333		1,589	
2011		964	2,910				425		518	
2012	230	378		1,721			1,869		1,324	
2013	462	1,268	2,597						1,690	
2014	146	1,670	(659)* <sup>1</sup>	110			49		116	
2015	119* <sup>2</sup>	61	132		47	1	4	7	5	
2016	0.5	86* <sup>3</sup>	41	51			3	5	3	
<b>2017</b>	<b>2.3</b>	<b>15</b>	<b>12</b>	<b>6</b>						

\*1 2014年6月は三重水研の調査結果

\*2 2015年4月の調査日は、5月1日

\*3 2016年5月9日の採集では28尾、5月24日の採集では86尾。

表4 渥美外海のカタクチイワシ卵採集数 (15点合計) (個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	0	0	欠測	135	1,399	362	105	221	45	2	3	0	2,272
2013	0	0	320	102	340	388	159	20	4	0	0	0	1,333
2014	0	0	149	1,071	329	20	37	114	249	59	4	0	2,032
2015	0	2	703	15	1	112	126	12	5	148	0	5	1,129
2016	0	0	0	50	27	24	93	10	2	1	0	0	207
2017	欠測	0	2	208	14	147							371
平均(過去5年)	0	0	235	275	411	182	102	75	61	42	1	1	1,339

表5 伊勢湾のカタクチイワシ卵採集数 (15点合計) (個)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	N	N	N	4	512	1,094	1,945	1,424	415	3	15	N	5,412
2013	N	N	N	0	30	1,237	4,764	1,366	876	9	42	N	8,324
2014	N	N	N	10	502	221	733	164	88	315	291	N	2,324
2015	N	N	N	1	191	160	30	1,291	61	132	768	N	2,634
2016	N	N	N	0	1,329	1,236	748	1,508	132	248	108	N	5,309
2017	N	N	N	0	17	29							46
平均(過去5年)	N	N	N	3	513	790	1,644	1,151	314	141	245	N	4,801

表6 シラス類漁獲量 (トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	9	0	0	110	444	832	1,383	1,167	679	1,142	496	181	6,443
2013	4	0	0	723	1,667	374	250	295	1,248	322	353	127	5,363
2014	0	0	0	594	2,828	527	18	891	672	1,400	592	236	7,758
2015	0	0	6	980	3,255	1,466	40	166	164	1,002	1,886	938	9,903
2016	11	0	94	1,210	691	33	628	136	132	1,683	1,718	636	6,972
2017	5	0	0	885	2,104	0							2,994
10年平均	4	0	17	540	1,620	968	580	488	528	875	721	285	6,625

表7 カタクチイワシ漁獲量 (トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	46	0	0	260	1,471	1,792	1,824	3,704	2,197	483	851	354	12,983
2013	0	0	0	0	803	2,680	4,794	5,382	2,382	1,082	2,811	1,768	21,702
2014	446	0	0	655	269	2,864	5,389	3,742	3,009	2,609	1,971	703	21,657
2015	231	226	0	131	0	286	4,332	2,952	3,191	800	1,262	361	13,772
2016	85	0	14	0	851	2,128	1,703	91	789	0	150	508	6,320
2017	15	21	62	23	300	1,873	1,878						4,171
10年平均	89	48	13	226	743	1,939	4,053	3,810	2,313	1,195	1,092	676	16,197

\* 2016.6以降は水試の推計値

\*7月17日まで

表8 マイワシ漁獲量 (トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2012	0	0	0	0	0	72	49	499	214	52	0	0	886
2013	0	0	0	0	1	8	107	577	295	3	0	0	992
2014	0	0	0	<1	0	104	269	1,547	1,334	617	422	180	4,474
2015	76	78	0	0	0	4	1,010	2,100	3,184	2,684	1,413	574	11,123
2016	74	0	0	0	75	4,736	4,535	5,812	4,419	3,803	949	820	25,225
2017	0	0	0	0	16	1,154	2,029						3,200
10年平均	15	9	0	0	8	502	707	1,333	1,213	787	293	163	5,031

\* 2016.6以降は水試の推計値

\*7月17日まで